行雲流水

No. 4 5 令和3年5月27日発行

「学びの山」を登る その2

校長 寒河江 正人

今、本校の先生たちは「**猛勉強**」をしています。
おそらく近隣の中学校で、こんなに**勉強（研修）**している先生たちは、いないでしょう。
生徒諸君だけでなく、本校の**先生たちも日々学んでいる**のです。

なぜなら、新しく改訂された「**学習指導要領**」が、今年度から**全面实施**となったからです。
「**学習指導要領**」とは、「**各教科の学習内容**」や「**指導方法**」などを国が示したものです。
これまで、おおむね**10年に1回**、見直されてきました。

今回は、これまで以上に「**生徒が主体的に学ぼうとする学習者に育つようにという願い**」
を込めて、改訂されました。
本校では、「**主体的な学習者**」を愛称「**Manabian（マナビアン）**」と呼ぶことにします。

そこで、本校の先生たちは、山形県教育委員会などから指導・助言する方をお招きして、
5月19日から6月15日まで9教科すべてで「指導の方法・評価の方法など」について、
門脇明人研究主任・学習指導部長の号令の下、みんなで懸命に学んでいます。
本校の先生たちは、**単元（学習内容のまとまり）**ごとに「**どんな能力を育てるのか**」とか、
そのために「**どんな学習活動をするのか**」とか、「**どんな方法で評価するのか**」について、
新しい単元の学習に入る前に、生徒のみなさんに示す「**新たなチャレンジ**」をしています。

さらに、**6月8日から6月25日まで、各教科の「授業研究会」**を実施します。
「**授業研究会**」では、授業を受けた「**生徒の声**」として、「**課題は分かりやすかったか**」、
「**もっとこうだとよかったな**」という感想を聞いて、指導の効果を検証していきます。

先生たちも、生徒諸君の「**より良い山の登り方（学び方）**」を懸命に考えています。
あなたの身近にいる「**仲間**」や「**先生**」に「**登り方（学び方）**」を相談してみましょう。
1年生だけじゃなく、2年生・3年生だって、今からでも決して遅くはありません。
でも、すぐには「**登り方（学び方）**」は見つかりません。
なぜなら、相談した相手の「**登り方（学び方）**」と「**あなたに合った登り方（学び方）**」は
きっと違うからです。でも、「**何らかのヒント**」は、見つかるかもしれません。
その「**ヒント**」を「**種**」にして、「**あなたにあった登り方（学び方）**」を試すのです。